



患者さまからいただいた声

当院には、通院・入院・手術などで関わった患者さんやご家族から、日々ご感想やお気持ちが届きます。そのなかには、私たち医療者に大きな励みや気づきを与えてくれる言葉がたくさんあります。

今回は、職員休憩室に掲示しているお手紙から、いくつかを要約してご紹介します。

患者さんの声を「院内で回る紙」にとどめず、いただいた声が私たちの日々の医療の根幹であることを、誌面を通じてお伝えできればと思っています。



この病院で本当に 良かったと思えました

初めての手術、そして初めての入院。
何もかもが不安でいっぱいの中、医師の丁寧な説明や、看護師さんの明るい声かけが、私の支えでした。
ICUでの時間は正直つらかったけれど、スタッフの皆さんの存在が心強くて。
病氣と向き合う覚悟ができたのは、この病院のおかげです。



家族も、そして私も 支えてくれました

長年、母の通院に付き添ってきました。
医療の質もそうですが、なにより、関わる職員の皆さんの“人としての優しさ”が、ずっと変わらずにあったように思います。
家で母を看取ったとき、思い出すのはこの病院のことばかりでした。
心から、感謝しています。



退院後も、生活がちゃんと 続いていく

退院のとき、薬の説明だけでなく、日常生活の注意点や地域の薬局への連携まで、きちんと整えてもらえてありがたかったです。
病院を出てからが本番。だからこそ、ここで過ごした時間が、今の私を支えてくれています。



この一週間の流れは、 まさに“命をつなぐ時間”でした

検査で悪いところが見つかり、すぐに手術。
本当は不安で押しつぶされそうだったけれど、迷っている暇もないくらい、的確でスピーディな対応に驚きました。
終わった後、何人もの先生が様子を見に来てくれて、「もう大丈夫です」と言ってくれたときの安心感は忘れられません。



落ち着いて 安心できる空間でした

外から見ると質素な印象の建物でしたが、中に入ると、静かで整った空間が広がっていて、思わずほっとしました。
診察や検査の流れはとてもスムーズで、どのスタッフの方も穏やかに接してくださり、緊張がふっとやわらぎました。必要な医療が整っているだけでなく、気持ちの面でも安心できる、そんな場所でした。



病院で過ごす時間は、決して楽しいものではないかもしれませんが、こうして振り返って「よかった」と感じてくださる方がいることに、私たちは心からの責任と誇りを感じます。今後も、一人ひとりの「声」と向き合いながら、安心してかけられる医療の提供に努めてまいります。

通院いただいている患者さまへ

当院は、心臓血管外科・循環器内科の高度専門医療機関として、外科手術からカテーテル治療まで幅広く対応できる体制を整えています。

🚑 緊急時のお願い

体調が急変し救急車を呼ばれる際は、「心研がかりつけ病院です。心研に搬送してください」と救急隊にお伝えください。

📞 時間外・休日の相談窓口 ▶ 03-3408-2151

診療時間外や休日でも、体調がすぐれない場合は当院代表番号へお電話ください。医師または看護師が直接ご相談に応じ、必要に応じて受診や救急搬送の手配を行います。

🏠 安心の入院体制

急性期の心臓疾患に対応できる入院施設を備え、手術・治療が必要な場合も速やかに対応します。

📍 みなさまの命をお守りする準備は、いつでも整っています。

いざという時のために、このカードをお持ちください。
切り取ってお使いいただけます。

胸痛 動悸 呼吸困難 など

体調が悪くなった際は、心研にお電話ください。

24時間
365日

03-3408-2151

みなさまの命をお守りする準備は、いつでも整っています。



公益財団法人
心臓血管研究所 附属病院

<https://www.cvi.or.jp/index.html>





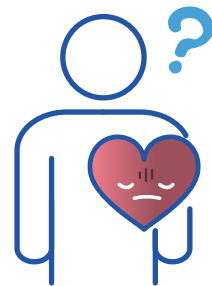
“心臓が痛くない心筋梗塞”をご存じですか？

心筋梗塞といえば「胸の激しい痛み」を思い浮かべる方が多いと思いますが、実は痛みをほとんど感じない「無痛性心筋梗塞」も存在します。気づかれにくいため発見が遅れ、命に関わる危険が高まるこの病気について、知っておきたいポイントをご紹介します。

痛みがなくても進行する「無痛性心筋梗塞」

心筋梗塞は、心臓の筋肉に血液を送る冠動脈が詰まり、その先の心筋が壊死してしまう病気です。典型的には胸を締め付けるような強い痛みや圧迫感が現れます。

しかし、心筋梗塞でも痛みが全くない、あるいは軽い違和感しか感じないのが「無痛性心筋梗塞」です。痛みがないため発見が遅れやすく、心臓のダメージが広がって心不全や重い不整脈、突然死といった深刻な事態に至ることもあります。特に忙しい日常の中では「少し疲れているだけ」と自己判断してしまうことが多く、受診が遅れる原因になります。



特に注意が必要な方

- ✓ **糖尿病の方**
神経障害が進むことで痛みを感じにくくなります。
- ✓ **高齢者・女性の方**
症状が軽く現れる傾向があり、胸の痛みの代わりに倦怠感や食欲不振といった別の症状が出る場合があります。

見逃されやすい 予兆のサイン

- ✓ 普段より強い倦怠感
- ✓ 階段や坂道での息切れ
- ✓ 原因不明の冷や汗
- ✓ 胃の不快感や吐き気
- ✓ 肩・首・背中への違和感

! 特に食後や軽い運動のあとに症状が現れ、すぐ治まる場合は要注意。一見心臓と関係なさそうですが、心筋への血流不足のサインかもしれません。

早期発見と治療が大切！

無痛性心筋梗塞は、早期に発見できればカテーテル治療や薬物療法により心筋のダメージを最小限に抑えられ、予後も改善します。当院では、心電図や血液検査、心臓超音波（エコー）、冠動脈CT、必要に応じてカテーテル検査も行い、わずかな症状でも心筋梗塞を見逃さない体制を整えています。さらに、再発予防のための生活習慣指導や、糖尿病・高血圧といった合併症の管理も包括的にサポートいたします。

「胸が痛くないから大丈夫」ではなく、「症状が軽くても相談を」を合言葉に、ぜひ早めの受診を心がけてください。体の小さなサインを見逃さないことが、未来の健康を守る大切な一歩です。



ご家族やご友人・知人をご紹介します

当院は、心臓や血管の病気に関する診療を専門としています。

不安な症状がある方、健診で異常を指摘された方、動悸・息切れ・胸の痛み・むくみなどの症状がある方は、早期受診をお勧めします。ご家族やご友人・知人で、こうした状況に心当たりがありましたら、ぜひ当院をご紹介します。

お電話で
伺うこと

1. 氏名・生年月日
2. 現在の症状や経過
3. 健診や他院での検査結果（あれば）
4. ご希望の診療内容/受診希望日など

ご予約の際には、ご本人から「患者ID〇〇の●●さんからの紹介です」とお伝えいただくと、診療がよりスムーズになります。



私たちは、患者様の大切な方の健康を守るため、専門チームで丁寧かつ迅速な対応を行います。皆さまのご紹介が、早期発見と適切な治療につながります。



心研に通院の患者さまへのお知らせ

緊急時のお願い

体調が急変し救急車を呼ばれる際は、「心研がかかりつけ病院です。心研に搬送してください」と救急隊にお伝えください。

時間外・休日の相談窓口

診療時間外や休日でも、体調がすぐれない場合は、当院代表番号(03-3408-2151)へお電話ください。医師または看護師が直接ご相談に応じ、必要に応じて受診や救急搬送の手配を行います。



公益財団法人
心臓血管研究所 附属病院



ホームページではさらに
たくさんのお役立ち情報をお届け！

心電図異常と
言われたら



施設のご紹介



公益財団法人
心臓血管研究所 附属病院 〒106-0031 東京都港区西麻布3-2-19



03-3408-2151

受付時間

平日8:30~17:00(祝日・年末年始除く)